

2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024 年 1 月 30 日作成)

小委員会名	サステナブル・ビルト・エンバイロメント 研究小委員会	主 査 名：加用現空 就任年月：2023 年 4 月
所属本委員会	地球環境委員会	委員長名：横尾昇剛
設 置 期 間	2023 年 4 月～2025 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>日本建築学会におけるサステナブル・ビルディングの概念は 1998 年に提案された。その間、各種技術開発や CASBEE に代表される環境性能認証制度の普及、建築物省エネ法の施行など、建築分野におけるサステナビリティに向けた意識は醸成されつつある。近年のサステナビリティは、建築物単体にとどまらず、街区や地域など、広域範囲との相互連携アプローチが重要になりつつある。本小委員会は、サステナビリティを考える対象を、構築空間の総体を意味する Built Environment へ拡張し、その構成要素としての建築物のあり方について、議論・検討することを目的とする。</p> <p>初年度： <ul style="list-style-type: none"> ・ビルト・エンバイロメントの持続可能性に関する最新動向調査と議論の継続 ・ビルト・エンバイロメントに関する勉強会・オンラインセミナーの開催 ・関連小委員会との意見交換、情報共有、協働 2年度： <ul style="list-style-type: none"> ・ビルト・エンバイロメントの持続可能性に関する最新動向調査と議論の継続 ・ビルト・エンバイロメントに関する勉強会・オンラインセミナーの開催 ・関連小委員会との意見交換、情報共有、協働 ・次年度以降の活動方針に関する議論 </p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：加用現空 (東京都市大学) 幹事：樋山恭助 (明治大学) 委員：伊藤雅人 (三井住友信託銀行)、今井康博 (大林組)、大岡龍三 (東京大学)、大村紋子 (納屋)、亀井未穂 (地球環境戦略研究機関)、高口洋人 (早稲田大学)、田村雅紀 (工学院大学)、塚田敏彦 (NTT アーバンソリューションズ)、花里真道 (千葉大学)、増田忠史 (愛知産業大学)、横尾昇剛 (宇都宮大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2023 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	

対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 <small>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</small>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本年度議論したいテーマについて委員と意見交換を行なった。 建築分野で考えるべき「生物多様性」について議論すべきとの意見を得た。 2. 持続可能性の視点でみる先進事例の見学 「日本設計の新しいワークプレイスの試み」を見学し担当設計者との意見交換を行なった。
委員会活動の問題点・課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今後も継続した議論と、先進事例視察を検討・実施する予定 2. オンライン形式のセミナーと事例見学を通じた意見交換を組合せ、議論を深める。